



Title	Omoituita mama, X
Author(s)	福原, 満洲雄
Citation	全国紙上数学談話会. 1937, 145, p. 270-273
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74570
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

645. *Amoituita mama*, X

福原 満洲 雄(九大)

1. 九大理學部ハ果シテ實現スルカ、高須氏ハ折角九大
數學教室ノタメニ書カレタノニ九大關係者トシテ知ラス顔シ
テキルノモ氣が咎メルノデ自分トシテノ考ヘモ述ベテ置カウ、
才互ニ我が學界ノ發展向上ヲ希望スル點ニ於イテ果ナル所
ハナイノデアルカラ、若シ失言アラミ御寛恕ヲ乞フ次第デ
アル。

現在ノ狀態ニ於イテハ少クモ自分ノ間九大理學部ハ出
現スマイ、未來ノコトデアル。ドンナ風ノ吹キマハシデ出來
ナイトモ限ラナイ。出來ルトカ出來ヌトカ議論ヲシテ見タト
コロデ今直グニ片ノ附ク問題ハナイ。景氣ヨク出來ルト假
定シテ了ハウ。ソノ上デドンナモノが出來上ルカトイフコト
ヲ考ヘテ見ル、九大ニハ既ニ醫、工、農、法大學部ガアル。
ソコニ理學部ガ出來ルノデアル、新ラシク出來ルノデハナイ。
既ニ工學部ノ中ニ教學及ビ力學、物理學、化學、地質學教室
ガアルノデアル。結局ソレガ拡張サレテ理學部ニナルカケノ
コトデアラウ。下地ノナイ所ニ新シイモノガ出來ルノトハワ
ケガ違フ。他教室ノコトハイザ知ラズ、數學教室ガ虐待サレ
ルデアラウコトハ現在ノ空氣カラ推シテ眼ニ見エテキル。ド
ンナ方向カラ眺メテ見タ所デ、近頃新設サレタ數學教室ヨリ
惠マレタ狀態ニアル數學教室ガ九大ニ出現シヨウナドトハ夢
ニモ考ヘラレナイ。

ソレデハ九大理学部ノ出現ヲ希望シテ居ナイノカナンテ
質問ヲスルモノデハナイ。出来レバ出来ヌ=優レコトハ~~カ~~
切ツタ話デアル。如何=数学教室カ虐待サレタトシテモ教授、
助教授、講師、助手ヲ通ジテ数学出身者が自カ一人ナンテイ
ヲコトハアルマイ。

数学ノ研究=助手ハ等ヲストイフ *Inertia* カ働イテ
キル所=数学教室ヲ作レノデハ結果ハ面白クナイ=キマツテ
キル。併シ如何=環境=恵マレテキナイデモ、ソノ人選如何
=ヨツテハ将来ノ活躍ヲ期待シ得ルデアラウ。サウナツタ
テソレ以上=恵マレタ環境=アル数学教室ハ何ノ面目アツ
テカ國民=見エシマアル、九大ノ話ハモウ止メ=シヨ
ウ。

2. 學者トシテノ眞價ハ決シテ個人ノ仕事ノ多寡ヲ以テ
論ゼラルベキデハナイ、良キ後進ノ指導ハソレ以上=重要ナ
學者ノ義務デアル、要スル=ソノ人ノ将来ヘノ影響如何ヲ以
テソノ眞價ハ論議セラレベキデアラウ、コノ意味=於イテ個
人トシテノ業績ハ特=取立テア云フ程ノモノガナクとも、ソ
レノミヲ以テ非難スル=ハ當ラヌ場合モアラウ、如何=個人
トシテノ仕事ハ大キクとも、後進ヲ自己ノ個人的趣味=依ッ
テ指導スル如キハ指導者トシテノ資格=缺クル所カアルと思
フ。

僅カ=一人カ二人ノ指導ヲスルダケデモ随分難カシイ
エノダト痛感シテ居レ、況ンヤ一國ノ學界ヲ正シク向上発
展サセルコトノ至難ナル、力足ラザルヲ歎クノミ。

3. 歐米ノ尖端ノ尻馬ニ乗ツテ少シバカリ蠢動シテ巨流ノ尖端顔ヲスル、大啤教授ナラズトモオ恥シキ限リデアル、流行ノ後ヲ追カケテモダン振ルノト何等撰ブトコロカナイ、大所高所カラ觀察シテ我々ハ何ヲナスベキカラ考ヘ、然ル後、己ガ目標トスル所ニ向ツテ、流行ニ眩惑サレルコトナク、併シ他方面ノ理論ノ飛展ニモ細心ノ注意ヲ払ヒナガラ勇往邁進スルノアナケレバナラナイ、指導者タル者ハ斯クノ如キ人ヲ見出し、鼓舞激励シ、研究ノ便宜ヲ與ヘルヤウニ努ムベキデアル、先輩モ後輩モ私心ヲ捨テ心ヲ併セテ進ムトキ我等ノ前途ハ希望ニ輝クデアラウ。

4. 寡ハ寡ニ敵セズ、個人ノ力ハ團結セル衆ノ力ニハ及バナイノデアル、数人ノ人ガ同ジ目的ノタメニ夫々分担ヲ定メテ研究ニ協力スルト云フコトハ大切デアル、此レ等ノ數組ガお互ニ聯絡シテ更ニ大キナ目標ヲ追求スル、此等ノ團體ガ幾ツカ集ツテ更ニ高イ目標ニ向ツテ進ムトイフ仕組ヲ考ヘラレナイモノデアラウカ、勿論ソレニハ各個人ニ滅私奉公ノ氣持カナクテハ出来スコトデアル。

5. 本誌ハ各大學ガ互ニ孤立シテキテ聯絡カナイノヲ遺憾トシテ生レタモノダト思ツテキル、併シソノ目的ハ達セラレテキルダラウカ、ナイニ優ルコトハ勿論デアルガ、聯絡機關トイフヨリ半公式ノ発表機關ト云ツタ感ジデアル、吾人ニ不足シテキルノハ *Original* ノ発表機關デハナイ、尤モ日本語デ、発表機關ニハ不足ヲ感ジテハ居ル、コノ点ハ以前カラ不満ニ思ツテキルコトデハアルガ、議論ハ差控ヘヨウ。

鬼＝角日本ノ學者ガ日本語ヲ自由ニ発表出来ナイデ、ソレヲ
モ一等國カト言ヒタクナル。學者ノ外國語ノ素養ヲ問題ニス
ル前ニ日本語ノ素養ヲ問題ニシナケレバナラヌ程ノ現状ヲ遺
憾ニ思フ。

余談ハサテ置キ、吾人ニ不足シテ居ルノハ相互ノ連絡機
関デアアル、イキナリ *Original* ヲ聞カサレテモ残念ナガ
ラ理解スベク豫備知識ガナイノデアアル。亦ラナイカタト云
ツテ傾向ヲシヨウニモ概ミドコロガナイノデアアル。重要ナ
モノ、價值ノアルモノハ素人ニダツテソノ意味ハ理解サレ
ル筈ヲ思ツテキル。難シサウナモノ、余リ難イコトヲセ
ル人が偉サウニ見エルノナンカハ飛ンデモナイ錯覺ダ。

私ハ綜合報告ノ如キモノヲ（証明ヲ適宜ニ省略シテ）成
ルベク多ク本誌上ニ載セラルコトヲ提議シタイ。勿論自分ノ研
究ヲ中心トシケモノデモヨシ、外國物デモヨク咀嚼消化サレ
タモノナラヨイ。但シ生嚙リノ不消化ノ外國物ハ迷惑デアアル。
今更ソンナコトヲ言ハズトモ、サウイフモノノタメニ本誌上
ハ開放サレテ居ルコトヲ既ニ南雲氏ハ強調サレテキルノデア
アル（114号雜言）ガ而モソノ後ソウ言ツタモノガ現ハレナイ
カラコノ点ヲ留意シテ寄稿サレル人が多ク現ハレルコトヲ望
ム次第ナノデアアル。